



丹波市立 農の学校 第8期 募集要項

目次

1. 「丹波市立 農の学校」とは	P 1
2. 募 集 要 項	P 1
3. 出 願 方 法	P 2
4. 助 成 制 度	P 4
5. 講 師 一 覧	P 5
6. 開 講 場 所	P 6

1. 「丹波市立 農の学校」とは

「丹波市立 農の学校」は、1年を通じて、里山の資源を生かした有機農業の技術に加え、次世代農業経営を学ぶ「古くてあたらしい」オトナのための農業学校です。

農業は人が生きるために欠かせない産業であり、「農」は、人々の営みそのものです。

これから農業を本格的にはじめようという方も、「農」を起点とした豊かな働き方・暮らし方にシフトしたいとお考えの方も、この学校に通う1年を通じて、あなたならではの農業スタイルを探していただけます。

2. 募集要項

開講期間	2026年4月～2027年3月（1年間／2学期制） 2026年4月3日（金） 入学式・オリエンテーション 2027年3月9日（火） 卒業発表・卒業式 【前期】2026年4月3日（金）～2026年9月30日（水）【後期】2026年10月1日（木）～2027年3月9日（火）
開講場所	農の学校 校舎および圃場（兵庫県丹波市市島町上田）
開講時間	【通常】9:00～12:00／13:30～17:30 【サマータイム】初期（6月下旬～7月初旬） 7:00～12:00／15:00～18:00 中期（7月初旬～9月初旬） 6:00～11:00／15:00～18:00 後期（9月中旬～9月下旬） 7:00～12:00／15:00～18:00 ※サマータイム期間（予定）：2026年6月15日（月）～2026年9月25日（火）
総受講時間	1618時間／週5日程度／全日制（※2025年度実績）
カリキュラム	・座学講義 195時間（2025年度実績） （農業技術36時間／栽培講習60時間／農業経営・データ活用72時間／営農計画策定27時間） ・栽培実習・実践（圃場実習／マスター農家研修／プロ農家研修／機械講習／振り返りを含む）1384時間 ・地域のなりわい講座 39時間 ※開講時間及びカリキュラムは予告なく変更になる場合がございます。
課外プログラム	日本農業技術検定受験（2・3級）／農業簿記検定受験（3級）／有機JAS講習会 地域プロ農家での短期研修／イベント参加、マルシェでの販売実践等
定員	20名（第8期生）
入学要件	18歳以上の方／高等学校卒業程度の学力を有すること／健康状態が良好であること ※願書等により、選考の上受講生を決定します。
費用	受講料 670,000円（学校指定教科書代金を含む） 日本農業技術検定2・3級受験料 7,330円／農業簿記検定3級受験料 1,980円／有機JAS講習会 11,000円 ※以上、価格はすべて税込。検定料・講習会費は、2024年度の価格です。 ※講義会場までの往復交通費については各自のご負担となります。 傷害保険料 およそ15,000円（非課税） ※不慮の事故や怪我に備え、全員に加入いただいております。 ※確定金額とお支払方法のご案内は2025年3月を予定しております。
出願方法	3. 出願方法をご確認ください。
募集期間	2025年7月1日（火）～2026年3月9日（月） ※募集期間中であっても定員に達し次第、応募を締め切らせていただきます。 ※冬季休業期間のお問合せや書類等の発送につきましては営業日に順次ご対応いたします。

3. 出願方法

1) 説明会参加

まずは説明会にご参加ください。年間カリキュラムや学校生活、サポート制度について説明いたします。ご納得いただいた上で入学をご検討ください。

2) 出願

「丹波市立 農の学校」受講生募集サイトより願書をダウンロードし、必要事項ご記入の上、願書受付期間内に提出してください（募集期間中、毎月末日に締め切り、審査を実施します。最終締め切りは、3月10日（月）必着）。但し、募集期間中であっても定員に達し次第、応募を締め切らせていただきます。

受講生募集サイト：<https://agri-innovation.jp/minori/>

※サイトからのダウンロードが難しい場合は、電話・メールにて学校事務局までお問合せください。

3) 選考

厳正なる審査の上、第7期受講生を決定します。

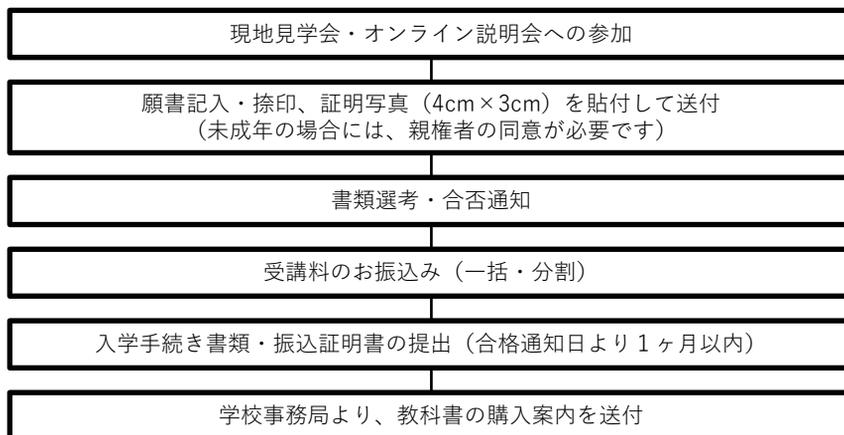
4) 合否通知・入学手続き

募集期間中、毎月、月末までに到着した願書を翌月初に審査し、一週間程度で合否を通知します。

（最終の締め切り日は、募集期間の最終日とし、翌週に審査を実施します）

入学手続きは、合格者にお送りする「入学手続の手引き」に従ってお手続きをお願いします。お手続きは、合格通知日より1ヶ月以内にお済ませください。

（但し、2月1日（日）以降のご出願の場合、手続き完了の期日は、3月31日（火）までとなります）



5) 選考方法

願書を提出いただいた方の中から、以下の審査基準に基づき審査を行い、第8期受講生を決定します。

審査は、願書による書類審査を行い、総合的に評価します。

審査基準

- ① 志望動機
- ② 意欲（農業を学ぶ意欲が高いか）
- ③ 実現可能性（自己の現状に照らして、実現可能な目標設定やステップをイメージできているか）
- ④ 農業への思い（自分の暮らしに、どのように農業を取り入れたいのか）

応募受付期間終了後は、審査手続きに関する質問や異議は受付いたしかねます。

公平性を期すため、審査方法についての質問には応じかねる場合があります。

なお願書に虚偽があったことが判明した場合、入学の資格が取り消しとなる場合がありますので予めご了承ください。

6) 受講料のお支払い方法

「入学手順の手引き」に従ってお振込みください。なお、振込手数料は各自のご負担となります。

お支払い方法は、下記よりお選びいただけます。

1. 一括納入

受講料及びその他の費用を一括で納入する場合

合格通知日～入学手続き書類提出までの期間にお振込みください。

2. 分割納入

学期ごとに分割して受講料を納入する場合

第1回納入／前期受講料（335,000円／税込）＋検定受験料・資格講習料（20,310円／税込）
＋事務手数料（5,500円／税込）

※納入期限：合格通知日～入学手続き書類提出までの期間にお振込みください。

第2回納入／後期受講料（335,000円／税込）＋事務手数料（5,500円／税込）

※納入期限：2026年9月30日（火）

3. 学資ローン

受講料の分割払いが可能です。詳細は事務局にお問合せください。

7) 各種提出物の送付先

〒669-4322 兵庫県丹波市市島町上田1134番地

丹波市立 農の学校 事務局（TEL. 0795-85-2800）

4. 助成制度

ご入学にあたり、丹波市への就農・移住に対するサポート体制（助成金等）を準備しています。

1) 家賃助成（在学中）

・市外から丹波市内に移り、新たに住居（戸建てまたは集合住宅）を借りた場合、丹波市が月額上限25,000円として家賃の2分の1（1,000円未満切り捨て）を補助します。助成期間は在学期間と同一（最大12ヶ月間）となります。

2) 家賃助成（就農時）

・卒業後、丹波市内に定住し、就農した場合、丹波市が月額上限20,000円として1年間の家賃の3分の1（1,000円未満切り捨て）を補助します。助成期間は、就農後、最大12ヶ月間となります。

3) 就農準備等

- ・卒業後、丹波市内で就農する場合、丹波市が農地探しをサポートいたします。
- ・卒業後、丹波市内で就農する場合、市及び県・丹波農業改良普及センター等が連携し、農業経営、栽培技術、運営資金等の相談に応じます。
- ・就農後、丹波市で認定新規就農者の認定を受けられた方には、農業機械・農業施設導入経費について、一部助成制度があります。

4) 国による就農準備制度

・「丹波市立 農の学校」は、国が実施する「就農準備資金」の認定研修機関です。卒業後の進路として就農を希望し、国が設定する交付条件を満たす場合、受講期間中に年間最大150万円の給付を受けることができます。

（昨年度実績：県の手続きに従って、入学後の秋に申請 ⇒ 12月交付決定 ⇒ 1月交付）

農の学校卒業生サポート

農の学校の卒業生には、マイファームが提携する出荷先への生産者登録特典やお得な価格で講義を聴講していただけるオープン講義など、様々なサポートをご用意しています。その他、マイファームのネットワークを活用した交流会やキャリア支援など、充実したサポートをご活用ください。

5. 講師一覧

「丹波市立 農の学校」の講義では、実務経験豊富な農業経営者・農業技術の専門家らが講師を担当します。

学校長



西辻一真 Nishitsuji Kazuma
株式会社マイファーム 代表取締役
アグリイノベーション大学校 初代学長

1982年福井県生まれ。2006年京都大学農学部資源生物科学科卒業。大学卒業後、1年間の社会人経験を経て、幼少期に福井で見た休耕地をなんとかしたい！という思いから、「自産自消」の理念を掲げて株式会社マイファームを設立。2010年、戦後最年少で農林水産省政策審議委員に就任。2014年、内閣府国家戦略特区農業特区委員就任。2016年、総務省「ふるさとづくり大賞」優秀賞受賞。

農業技術顧問



千葉康伸 Yasunobu Chiba
株式会社 農楽 代表取締役

高知県「土佐自然塾」での2年間有機農業研修を経て2010年に神奈川県愛川町にて新規就農。「有機農業参入促進協議会」や「次代の農と食をつくる会」の代表理事を務める。また「平成29年度未来につながる持続可能な農業推進コンクール」にて有機農業・環境保全型農業部門 個別経営の部「関東農政局長賞」受賞。現在は、研修生6名と共に耕作面積5ha（露地）、年間50種類の野菜を栽培。決して自然とケンカせず、協調する事が農業の醍醐味と語る。

農業技術（原理原則を学ぶ）



石原北斗 Hokuto Ishihara
アグリイノベーション大学校 学長

東京農業大学大学院農学研究所修士課程修了。ケニア農村部における環境保全型害虫管理技術の技術開発・普及に関する研究に関わる。農産物専門商社を経て、マイファーム入社、アグリイノベーション大学校の立ち上げに関わり、農業講義および農場実習講義の講師として新規就農者の育成に取り組む。現在は、原料生薬栽培や産地支援、中国/東南アジアにおける農業生産事業、ソーラーシェアリングなど、生産や営農支援、技術開発に関わるプロジェクトを統括している。

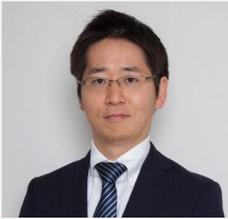
地域マスター農家研修



地域マスター農家
丹波を代表する農業者数名

丹波大納言小豆、丹波黒大豆など特産物栽培等に取り組む地域マスター農家のもとで、集中的に研修を行う。丹波市の有機農業の歴史は、丹波市市島地域に市島有機農業研究会が発足した1975年にさかのぼる。それ以後、有機農業への参入・普及啓発を促進し、「丹波」という大きなブランドと歴史に裏付けられた有機農業を確立している。

経営講義（農業簿記）



原田祐嗣 Yuji Harada

1981年京都府生まれ。公認会計士。京都大学経済学部在学中に会計士二次試験に合格。卒業後、監査法人トーマツに入社。2013年に退社後、原田公認会計士・税理士事務所に参画、今に至る。監査法人勤務時代に、農業を手がける上場会社の監査を担当し、農業をビジネスとして続けることの難しさに直面する。資本とノウハウの橋渡しこそ今農業界が必要とされている、私たちにもできることではないかと考え、現在は関西一円の農家の経営課題に耳を傾ける。

経営講義（農業経営の実際 ※複数講師）



萩原紀行 Noriyuki Hagiwara
のらくら農場 代表

シリーズ講義「農業経営の実際」では、第一線で活躍する農家の方々に講師を迎え、様々な課題と経営ノウハウを学ぶ。1971年、千葉県松戸市生まれ。大学卒業後、営業職を経て長野県八千穂村で75aの小さな農場をはじめ。現在約7.5haで約50品目の作物を有機栽培。2019年、オーガニック・エコフェスタの栄養価コンテストで総合グランプリ受賞。農業界のイノベーターとして注目と共感を集める。著書『野菜も人も畑で育つ』（同文館出版）

農場実習（専任講師）



神川健太 Kenta Kamikawa

1980年大阪府生まれ。複数のオーガニック農家で約8年間に渡って研鑽を積んだ後、丹波市にて独立就農。露地とハウスで様々な野菜を栽培し、オーガニック・フェスタ2016の栄養価コンテストにて、最優秀賞受賞（小松菜部門）。その後、栽培指導に注力し、企業の栽培アドバイザーや農家向け講座の講師などを歴任。2022年より当校の専任講師に着任。BLOFインストラクター。

地域のなりわい講座



地域のなりわい講座
地域資源を生かした仕事の現地視察

特産品の丹波栗やブルーベリーなどの果樹栽培、アイガモ農業など学校と異なるアプローチの農法、養鶏・乳牛・肉牛などの畜産業と水稲や野菜栽培とを絡めた複合農業など、幅広く視察する。また農業の枠を超えて、住民参加型の森林づくりや里山ようちえん、ジビエ料理店など、丹波ならではの地域資源を生かした、様々ななりわい(産業)の現場も訪れる。

6. 開講場所

<農の学校 校舎>

兵庫県丹波市市島町上田1134番地

アクセス：大阪・京都・兵庫方面・伊丹空港から1～2時間

【車でお越しの場合】舞鶴若狭自動車道春日ICより車で15分/JR「福知山駅」より車で20分

【公共交通機関でお越しの場合】JR福知山線「市島駅」より徒歩20分



<農の学校 圃場>

兵庫県丹波市市島町上田地内（校舎周辺）

学校専有農地（約 2.1ha）にて栽培実習を行います。年間約50品目を栽培します。





〒669-4322

兵庫県丹波市市島町上田1134番地

TEL : 0795-85-2800

E-mail : info@agri-innovation.jp

URL : <https://agri-innovation.jp/minori/>



設立：丹波市

〒669-4192

兵庫県丹波市春日町黒井811番地

担当：丹波市産業経済部 農林振興課

TEL : 0795-74-1465



運営：株式会社マイファーム

〒600-8216

京都府京都市下京区東塩小路町607番地

辰巳ビル1階

TEL : 0120-975-257

URL : <https://myfarm.co.jp/>